

4年1組 授業者 阿部 直道 先生

単元名 「キャッチバレーボール」

ねらい みんなでボールを落とさずにつなぐことができる。



導入の時に、互いのチームにボールパスを行う「ぐるぐるパス」を毎時間行い、単元に必要な基礎感覚を養いました。

キャッチバレーボールの練習の時には、相手が捕りやすいボールの投げ方や、落とさずにボールを捕るコツを考えました。



話し合いでは、ボールを落とさずにつなぐコツについて、練習を通して気付いたことを伝え合いました。

話し合いの後、気付いたことをすぐに実践しながら、キャッチバレーボールを行いました。子供たちは、ボールを落とさずにつなぐコツを確かめながら、練習に取り組みました。

今回は「キャッチバレーボール」の単元で、「ボールを落とさずにつなぐコツ」を友達と見付け合い、キャッチバレーボールにつながるパスの練習や簡単なゲームを行いました。初めの「感覚づくりの運動」では、二つのグループが互いにパスを行う「ぐるぐるパス」を行い、「パスをしたらすぐ動く」という基礎感覚を身に付ける学習を行いました。ゲームの練習の時には、「ボールを落とさずにつなぐ」というめあてをもとに、ボールの投げ方や捕り方のコツを考えながら行いました。子供たちは、相手が捕りやすいようなボールを投げたり、ボールが落ちる前に体を移動して捕ったりしながら、落とさずにつなぐコツを見付けることができました。話し合いの時には、見付けたコツを意欲的に友達に伝え合いました。話し合いの後、すぐに練習に取り組んだことで、話し合ったことをもとに、落とさないように上手にボールをつなぐことができました。